		婚		因	F	量		受理 第	令和	年		日号	発	送令	和	年	月	日
		令和	年	月	E	届出	Н	送付第	令和	年		日号		山口県	下	関市長	印	
			(あて先)	山口県	 下	市長	ŧ	書類調査	戸筆	善記載	記載調查	調	査 票	附	票	住民票	通	知
					夫	に	な	る	人			妻	13	な		る)		
	(1)	(よ み 氏	かた) 名		氏			名				Į.	ę			名		
		生 年	月日				L 年	月		日				i 年		月		日
		住	所															
	(2)	いると	登録をして :ころ ・マンション名)					番地番	与	} 						番地番	号	
				世帯主 の氏名							世帯三の氏名							
		本	籍															
1	(3)	外国人 国籍た てくだ	(のときは) どけを書い さい	筆頭者の氏名				番番	地		筆頭での氏					番番	也 ————	
		父母と	の氏名の続き柄	父					続	き柄	父						続き	柄
		その他	世の欄に	母						男	母							女
	(4)		の夫婦のしい本籍	□夫のほ		ř本籍	(左の▽	2の氏の人:	がすでし	に戸籍の	の筆頭者と	こなって	いると	きは書か	かない	でください 番地 番	1)	
年 月 日	(5)	同居を	を始めた				年		月					き、またに ほうを書い		居を始め (ださい)	
時 分受領□免 □旅 □個	(6)	初婚·耳	再婚の別	□初婚	再婚	(□死		年	月	日)	□初如	肾 再		死別 離別		年	月	日)
□その他 □無 () 「右 □無	(7)	前の夫ぞれの	を始める 妻のそれ の世帯の な仕事と	夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫	妻妻妻妻] 2.自] 3.企 99] 4.3k 約] 5.1%] 6.仕	由業・商業・商業・個点 ()人まで ()人までに () () () () () () () () () () () () ()	または農業 第工第七等(の世帯(い おまらない) まなる) まなる) まなる) まなるの よるでは者の での要年3月31日	ビス業官公庁をまたければ、用勤会ないそいない	等を個 には除く は1年末 が者世 の他の 世帯	人で経営 ()の常用 に満の契約 帯及び会: 仕事をして	してい 勤労者 対の雇用 社団体 ている者	る世帯 計世帯 目者は! の役員	で勤め 5) [の世帯				
()	(8)	夫 妻	の職業	夫の職		u + v	-7,11 LIN	9X+3/1311	is cich	щеую	妻の		,					
□有 □無 □要 □不要 □免 □旅 □個 □その他 □無 ()		そ の 他																
a 年 月 日 認 通 知		署名	出 人 押 印 pは任意)	夫						印	妻							EPI
		事件	簿番号						めた		月日	連	電話		()		
							夫	白		月	日							

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください(消えるボールペンは使用しないでください)。

この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日 でも届けることができます(この場合、宿直等で取扱うので、前日までに戸籍担当係で届書の記載内容と添付書類を確 認しておいてください)。

届書は、1通でさしつかえありません。

この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意し てください。

	証 人	
署名押印印	印	印
(※押印は任意) 生 年 月 日	年 月 日 年 月	В
住 所	番地 番地 番 号 番	号
本 籍	番地 番地 番 番	

- →「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
- → □には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。 外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、 希望する本籍を書いてください。
- → 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。 内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

- ◎署名は必ず本人が自署してください。
- ◎運転免許証などの本人確認書類をご持参ください。

